

プレスリリース

2016.3.30

株式会社エクスネット

日本生命保険相互会社にスチュワードシップ活動支援サービスを提供

株式会社エクスネット(東京都新宿区 代表取締役社長:茂谷武彦)は 2014 年 2 月に公表された日本版スチュワードシップ・コード受入に伴うスチュワードシップ活動を支援するサービスとして、「スチュワードシップ・ソリューション」(以下 本サービス)の提供を 2016 年 4 月より日本生命保険相互会社(東京都千代田区 代表取締役社長:筒井義信)に開始します。

本サービスではスチュワードシップ活動に含まれる「目的を持った対話(エンゲージメント)」の管理と「議決権行使」の管理をトータルに支援します。特に日本版スチュワードシップ・コード原則 7 の指針にある“対話”や“スチュワードシップ活動に伴う判断”を適切に行うことを支援するツールとしてご利用頂くためのアプリケーションを提供致します。

日本生命保険相互会社による本サービスの利用は、**生命保険業界初**の利用となります。当社では、生命保険会社視点のスチュワードシップ活動を支援する機能を拡充し、適切な議決権行使管理業務およびエンゲージメント活動を支援致します。

日本版スチュワードシップ・コードが公表されて既に 206 社(2016 年 3 月 24 日時点)の機関投資家がコードの受入を表明しております。

受入表明によりエンゲージメント、議決権行使の重要性は今まで以上に高まり、機関投資家はスチュワードシップ活動に多くの時間を要することとなります。日本国内の企業では株主総会が特定期間に集中しており短期間での議決権行使を行うことが求められるため、今まで以上の大きな業務負担の中でスチュワードシップ責任を果たさなければなりません。

さらに、2015 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードの適用も開始され、コーポレートガバナンス報告書など、機関投資家が注視すべき情報は益々増えています。

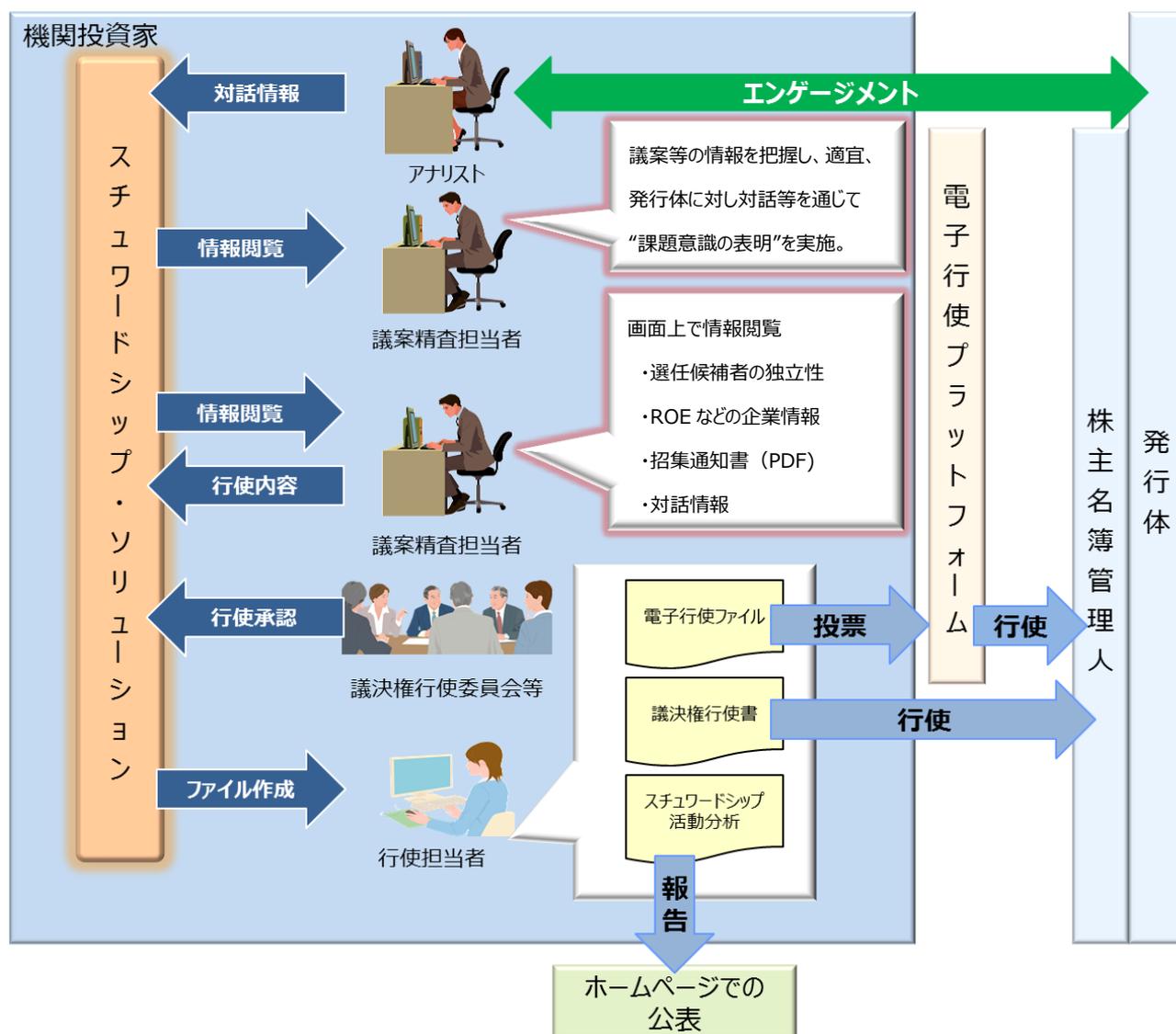
本サービスは、このような環境に置かれた機関投資家が日本版スチュワードシップ・コードの趣旨・精神に則ったスチュワードシップ活動を実施できるように支援することを目的としております。

本サービスでは以下機能を実装したアプリケーションを提供致します。

[特長]

- ① 議決権行使における、総会議案への行使事務管理機能
- ② 議決権行使ガイドラインに基づく行使結果シミュレーション機能
- ③ 議決権行使結果の集計機能
- ④ 企業情報、役員情報、招集通知書の閲覧用インターフェース
- ⑤ エンゲージメント実績管理機能
- ⑥ エンゲージメント資料の保存・閲覧機能

[サービスご利用イメージ]



株式会社エクスネットについて

株式会社エクスネットは、「アプリケーションアウトソーシング事業」が日本ではまだ一般的に知られていなかった 1991 年に創業しました。

「サービス」として業務アプリケーションを提供するビジネスモデルサービスを徹底的に追求し、すでに多くのおお客様にご利用いただいています。

2004 年には東京証券取引市場第一部に上場し、さらにサービスを拡大しながら、銀行を含む金融機関全般にユーザー層を広げています。

サービスに関するお問い合わせ先

担当：吉岡

Tel : 03-5367-2204

Fax : 03-5367-2215

E-mail : xnet11@xnet.co.jp